

精神障害者地域移行推進専門部会骨子

参考 1

分野（大分類）	施策の方向性（中分類）	説 明	指標等
2 精神障害のある人の地域生活への移行の推進（総合計画） 精神障害のある人の地域生活への移行には、医療機関による退院支援や、地域の福祉関係機関による地域生活支援の両面が必要であることから、関係機関が連携して対応する地域ネットワークの構築を推進します。 自立した生活の維持や社会参加などを支援するピアサポート体制の在り方について検討を進めます。 より身近な地域で、医療と福祉の連携体制の強化を図り、精神科医療機関と障害福祉サービス事業所等と連携した退院促進や地域定着の推進を図ります。	（１）精神障害のある人の地域生活への移行支援	連携コーディネーターを中心とした関係機関の連携強化や遠隔地退院支援事業、高齢長期退院支援事業等を行う「地域移行支援事業」を確実に実施するとともに、「地域移行、定着協力病院」の指定の取組を進める。事業の実施にあたっては、家族の支援について検討する。 また、地域移行支援病床についても、本県の対応を検討する。 さらに、地域移行に向けた受け皿の整備や、精神障害者に対する偏見をなくすための普及啓発について、検討を進める。	<div>○精神科病院に入院した患者の入院後３か月経過時点の退院率の上昇 福</div> <div>○精神科病院に入院した患者の入院後１年時点の退院率の上昇 福</div> <div>○精神科病院の長期在院者（１年以上在院者）の削減数 福</div> <div>○統合失調症の入院患者数 基</div> <div>○入院中の精神障害者のうち、１年未満入院患者の平均退院率 基</div> <div>○入院中の精神障害者のうち、高齢長期退院者数 基</div> <div>○地域生活支援広域調整会議等の事業評価委員会の開催見込み数、協議会の開催見込み数 福</div> <div>○地域移行・地域生活支援事業の実アウトリーチチーム設置見込み数 福</div>
	（２）障害のある人自身が自らの経験を基に相談支援等を行うピアサポートの推進	ピアサポートが積極的に活用されるよう周知、普及啓発を進めるとともにピアサポーターの養成に努める。	<div>○地域移行・地域生活支援事業の実ピアサポーター見込者数 福</div>
	（３）精神科救急医療体制の充実	夜間休日を含め２４時間３６５日、精神科救急医療相談に対応する精神科救急情報センターの機能の周知や、精神科病院における空床の確保など精神科救急医療体制の充実強化を図る。また、専門的な身体疾患治療の提供が可能な医療連携体制の構築を図る。	<div>○精神科救急基幹病院数 新</div> <div>○精神科救急身体合併に対応できる施設数 新</div>
7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実（総合計画） 発達障害、高次脳機能障害、強度行動障害など、地域の支援施設・機関では通常の対応が難しい障害について、県内に拠点を設置して支援の拡充を図るとともに、より地域に密着した支援ができるよう、民間での専門的・広域的な支援拠点機関の普及促進や、そのための人材育成などの具体的な仕組みづくりを進めます。 ◇ひきこもり本人や家族に対しては、相談支援等により、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図ります。	（２）地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進（うち高次脳機能障害関係）	高次脳機能障害者への支援や障害に対する知識の普及を推進するため、高次脳機能障害支援センター及び高次脳機能支援普及事業における支援拠点機関の支援体制を強化するとともに、地域内関連支援機関とのネットワークの構築に取り組む。	<div>○高次脳機能障害支援普及事業実施見込み箇所数、実利用者見込み者数 福総四</div>
	（６）ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	ひきこもり対策を推進するため、関係機関と連携した体制を整備し、ひきこもり地域支援センター等によるアウトリーチを実施する。また、ひきこもりサポーターを養成し、市町村による派遣を促す。	<div>○ひきこもり地域支援センターの相談件数 新</div> <div>○地域移行・地域生活支援事業の実アウトリーチチーム設置見込み数 福 再掲</div>
8 その他、第５次計画において取り組むべき項目（総合計画に含まれないもの）	（６）暮らしの安全・安心に関する支援（災害派遣精神医療チームの体制整備）	災害時における、被災地域の精神保健医療機能の一時的低下や災害ストレス等による新たな精神的問題の発生に対して、専門性の高い精神医療の提供と精神保健活動の支援を行う、災害派遣精神医療チーム（ＤＰＡＴ）の体制を整備する。	<div>○運営委員会の開催見込み数 福</div>